

核兵器のない平和で公正な世界のために

国際会議 8月2日(木)～4日(土) 会場：広島市文化交流会館

国際会議は、国内外の反核平和運動のリーダーや、核兵器禁止実現に尽力する政府代表が一堂に会し、「核兵器のない世界」の実現へ熱い議論が交わされます。採択される「国際会議宣言」は、全世界に対して「核兵器のない世界」実現に向けた行動を呼び掛けます。今年の大会では、昨年7月に国連で採択された禁止条約に大きな焦点があたります。核兵器をめぐる最先端の議論と運動が深くつかめます。若い世代の参加に期待します。



世界大会—広島 8月4日(土)～6日(月)

**開会
総会**

8月4日(土) 14:00～16:30 (開場13:00)
会場：広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

「国際会議」の報告や、広島市長や国連代表のあいさつ・発言など、2018年世界大会の特徴がつかめます。5月から全国でおこなわれる原水爆禁止国民平和大行進の通し行進者・国際青年リレー行進者がつどいます。



8月5日分科会は、右一覽を参照

**閉会
総会**

8月6日(月) 10:30～13:00 (会場9:30)
会場：広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

2018年世界大会のフィナーレを飾る集会です。広島の被爆者の訴えや、全国や世界の草の根のとりくみが交流されます。未来を担う若者が中心のステージも計画中です。



被爆73年ヒロシマデー とうろう流し
6日19:30～20:30基町河川公園

世界大会—長崎 8月8日(水)～9日(木)

**国際交流
フォーラム**

8月8日(水)
13:00～16:00
●長崎大学・中部講堂

8日の国際交流フォーラムでは、「ヒバクシャ国際署名」の共同がすすむ長崎ならではの企画として、共同に参加している人びとのパネル討論にして、幅広い市民の参加を呼びかけられるものに。9日のナガサキデー集会では、核兵器禁止条約採択から廃絶の実現へ、被爆者の訴えや文化企画など、「ナガサキの思い」を世界に発信します。

**ナガサキ
デー集会**

8月9日(木)
10:30～13:00(開場9:30)
●長崎市民会館体育館

●広島市平和記念式典
(8月6日8:00～8:45) 広島市主催 広島平和公園

●長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
(8月9日10:35～11:43) 長崎市主催 長崎平和公園

広島
8/5 9:30～15:00

魅力いっぱい

**フォーラム
分科会
うごく分科会**



特別集会

1 核と基地のない日本、沖縄との連帯を

沖縄・辺野古への新基地建設ストップ、核も基地もない沖縄の実現は日本全体の問題です。「オール沖縄」に連帯し、運動をいかに広げるかについて議論します。

2 非核平和の朝鮮半島とアジア—日本の役割

朝鮮半島の平和実現へ、対話を進める流れが生まれています。核兵器のない朝鮮半島・アジアへ一歩を踏み出すチャンスを生かすためにどうするかについて、アジアの海外代表とともに意見を交わします。

**6 軍事費をけずって
平和で人間らしい暮らしと経済を**

安倍政権の下で防衛予算が空前の過去最高額となっています。私たちの暮らし向きはよくなる気配がありません。軍事費や大企業支援ではなく、社会保障や生活向上にお金をつかってこそ、安心できる平和で公正な社会が実現します。くらし・経済と平和や安全の関係について学び、反核平和運動のすそを広げるとりくみを考えます。

7 文化の力で反核平和の輪をひろげよう

「ヒバクシャ国際署名」や各地の共同の行動がひろがっている今日、核兵器のない平和で公正な世界を求める世論を一層ひろげるチャンスです。多様な考え方を、排除ではなく、一人ひとりが「反核平和」を考えるうえで力になりうる文化の役割と課題、あらたな方法をみんなで経験・意見交流します。

8 青年のひろば—被爆者訪問、学習と交流

未来を担う青年が中心となってつくる分科会です。被爆体験を直接聞くことのできる最後の世代でもある青年が、グループになって被爆者を訪問し、その体験やたたかいを継承し、核兵器のない世界を実現する主体となるため学びます。

9 映像のひろば

原水爆禁止運動や核兵器の非人道性を伝える映像作品を鑑賞し、運動の中でどう積極的に活用するかについて交流します。

交流企画 ジャーナリストと市民の交流会 (仮称)

はじめての企画。報道の在り方がいま問われているとき、市民とともに考えることをテーマにしたもの。

高校生参加企画 世界のヒバクシャと語ろう

フォーラム

核兵器禁止・廃絶へ—政府とNGOの対話

昨年7月に核兵器禁止条約が採択され、「核兵器のない世界」に向けた新たな一歩をふみだしました。こうしたなか、非同盟諸国、条約作りにも尽力した国々と反核平和運動の代表が、核兵器禁止・廃絶の実現に何が求められるのかを議論します。

分科会

1 核兵器のない平和で公正な世界へ—草の根の行動

世界数億をめざす「ヒバクシャ国際署名」で垣根をこえた平和と民主主義を願う共同が各地で生まれています。これらの経験をちからに、世界の反核運動といっしょに草の根の行動で核兵器のない平和で公正な世界にむけて運動を飛躍させるために、討論・交流をおこないます。

分科会

2 非核平和の自治体づくり

「ヒバクシャ国際署名」に賛同する首長が全国で6割を超え、禁止条約の署名・批准を求める意見書決議を採択した自治体が200を超える下で、非核平和の自治体づくりをテーマにした分科会です。住民のなかにある反核平和の願いを結集し、非核平和行政について考えます。

分科会

3 9条改憲ストップと核兵器禁止・廃絶

ヒロシマ、ナガサキの痛苦の経験を教訓につくられた憲法9条。安倍政権は、自衛隊を憲法9条に書き込む改憲をねらっています。しかし、必要なのは被爆国にふさわしく憲法をいかした非核平和の日本です。その実現のために学習を深め、「3000万署名」や「ヒバクシャ国際署名」をめぐる共同の経験を交流します。

分科会

4 被爆体験の継承・実相普及と援護連帯活動

被爆者援護・連帯の諸活動のいまを考え、交流する分科会。被爆者から被爆体験を聞き、学ぶことを計画。2世・3世のみなさんからの声を聞き、ともに実相普及と今後の運動を考えます。核実験被害者の声を聞きます。

分科会

5 核兵器と原発

東京電力福島第1原発事故から7年が経過するも一向に収束のめどが立たない中、原発の再稼働が相次いでいます。膨大な量の使用済み核燃料や、核兵器の原料にもなるプルトニウムをどうするのかについても解決が迫られています。原子力エネルギー依存からの脱却をめざすとりくみを交流します。

※フォーラム・動く分科会は追加料金がかかります。 ※一部の分科会では開始・終了時間が異なります。